

走った距離は裏切らない

今日は、「走った距離は裏切らない」という話をします。これは、マラソンランナーの野口みずき選手が言った言葉です。

野口選手は、2004年のアテネオリンピックで、日本女子代表選手として出場して、金メダルを取りました。明くる年の2005年、ベルリンで行われたマラソン大会で大会新記録を出して優勝しました。

ところがその後、足首をけがして、もうダメかと言われましたが、2007年の東京国際マラソンでは、みごと復活して大会新記録で優勝しました。

野口選手は、決して大きな体ではありません。背の高さは約150cmで私の肩の高さぐらい、体重は、40kgで4、5年生ぐらいです。

そんな小さな選手がなぜ、けがにも、大きな外国選手にも負けずに優勝したのでしょうか。

それは、野口選手が言った「走った距離は裏切らない」という言葉にあると思います。

先週の木曜日の中日新聞のスポーツ欄にこの野口選手のことが書かれていました。今年のロンドンオリンピックへの出場に向けてけがと戦っているそうです。ぜひ、代表選手になって、活躍してほしいと思います。

「走った距離は裏切らない」それは、何か困ったときには、目標を忘れずに「まじめに一生懸命練習を続けていれば必ず成功する」ということです。

みなさんも何か困ったときには、「走った距離は裏切らない」という言葉を思い出してがんばってみましょう。